

# 震災風化させない

## グループ「缶入りおかゆ」PR

東日本大震災の発生から9年を迎えるに当たり、さいたま市に本社を構えるアイルグループ（籠島延隆CEO）は、11日を「防災デー」と定め、震災を忘れず、風化させないよう、田口幸隆社長と國田孝幸執行役員、植村敬仁PPP事業部長、野崎浩美総務部次長が9日、埼玉新聞社を訪れ、

同社製造の非常食「缶入りおかゆ」を贈った写真。

このおかゆは、アイル・クリンテックで製造した有機堆肥で育成したお米を使った非常食。アイルグループは、東日本大震災直後の同社の公共事業における燃料不足や停電などによる事業継続に係る問題に直面した際、多くの取

2四半期連続のマイナス。規模の小さい企業（同100人未満）は8割低下のマイナス25で、6四半期連続の低下となった。

先行き（4～6月期）はマイナス22と、悪化が続く見通し。製造業では引き続き多く

の業種で悪化が続き、非製造業では「一般建設」で持ち直しが見込まれる一方、「卸売」などで悪化する見通し。調査は2月上旬、県内企業547社を対象に実施し、201社（回答率36・7%）が回答した。（山田浩美）



引先の協力により難局を乗り越えられたことをいつまでも忘れずにいようと、感謝の気持ちを「缶入りおかゆ」に込めたという。

同社は、新たにSDGs（持続可能な開発目標）への取り組みとして、社会貢献活動をすることや女性の活躍の場を拡大することを目的にグループ内の女性社員による「チームさくらんぼ」を立ち上げ、子ども食堂へ缶入りおかゆの提供を行った。

同社は、社会貢献活動や子どもたち、被災地への支援に取り組みたいとしている。

（加藤博文）



2020年 3月11日 水曜日  
(令和2年)

きょうは何の日

東日本大震災が発生(2011年)



埼玉新聞社 〒331-8686 さいたま市  
北区吉野町2-282-3  
本社代表 048-795-9930